

令和5年12月4日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 樺澤 直純

## 一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

### 【1】市の取り組むSV事業と観光物産協会について

答弁を求める者 市長

令和5年11月24日に開催された議員協議会でも説明がありました当テーマについて、その当日は色々と時間も限られていたこともあり、このテーマ関連について、引き続いていくつかお尋ねいたします。また、観光物産協会の現況についてもお尋ねいたします。

#### 1 地域課題解決ソーシャルベンチャー事業の体制について

その時の議員協議会資料には、「より事業の効率を高めるため、体制や業務内容などのチューニングが必要。」と記されていましたが、具体的にはどのような考えであるのかをお聞かせください。

#### 2 この事業が市民の方々へも「よりよく見える化」について

この事業等へ関心がある市民の方々から事業内容等がよく見えないなどお聞きしたりしていますが、それらの対応についてはどのように考えられておられるのかをお聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目)



3 地域力創造アドバイザーについて

その時の議員協議会での説明の際、当市の今までの現状の評価から地域力創造アドバイザーとしての事業において、今後の継続の可否も含めて、どのように考えているのかをお聞かせください。

4 観光物産協会について

最近の観光物産協会の運営状況やS V事業との関わり等についてをお聞かせください。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 時代変化に順応する学校教育環境について

答弁を求める者 市長・教育長

以前ある時期には、コロナ禍から更に少子化が進むとも言われ、現在の学校現場は少子化にも関わらず不登校増という課題や通常の学校現場での現実、英語、道徳、プログラミング、キャリア、ICT(情報通信技術)教育などの能力主義的施策による通常級で多忙化となっており、教育現場での柱とも言える日本の学習指導要領は、第2次世界大戦後の1947年、GHQ指導のもと、日本の学校教育が構築されていく過程において、「学習指導要領 一般編(試案)」が作成され、これが日本における最初の学習指導要領で、時代の変遷に合わせて作成された当初は頻りに改訂が加えられていましたが、近年はおおよそ10年ごとに定着し、この流れから次期新学習指導要領は2026年改訂・2027年告示となり、現行では2016年改訂・2017年告示(高等学校は2017年改訂・2018年告示)された学習指導要領に基づいた教育が行われています。

そして、教育目標の柱としては、「個人生活については」「家庭生活については」「社会生活については」「経済生活および職業生活については」の4項目を挙げ、作成された1947年から現在に至るまで、学習指導要領は幾度も改変が加えられ、学習指導要領が頻りに改訂される理由として、社会や教育環境が変化し、生徒らが必要とする力や価値観が常に変化しているためです。現代社会を生き抜くためには、それに対応するための能力や視野の広さが必要で、生徒たちの多様な背景や価値観があることも考慮し、社会の多様性を尊重する姿勢が強調されるようになっていきます。

これらの変化の中で、より適切な教育が提供されるようにするため、学習指導要領は定期的に改訂され、改訂の中身の議論が中央教育審議会で行われてから全面実施まで、議論をまとめて具体的に改訂内容を決める時間に加え、改訂内容を告示し周知徹底させる時間、新しい学習指導要領に合

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

わせた教科書を作る時間、その教科書を必要部数印刷する時間など、移行には時間が必要です。また、現在の教育現場では「発達障害の可能性の子」が増えた、もしくはそう感じる教員が増えた、「不登校」の子どもが増えたなど、学校関連の環境整備として、それら様々な状況に対応できる環境整備もより進めていかななくてはなりません。

以下、学校教育関連について、お尋ねいたします。

## 1 中学校部活動の地域移行について

少子化や教員の働き方改革など地域移行が必要とされた背景から、2023年度からの3年間を改革推進期間として、可能な限り早期の地域連携・地域移行を目指すとしたスポーツ庁、文化庁の「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」などからを参考として全国的に進められてきています。現在は当市でも特定の種目に関しては、移行しつつあるように感じますが、俗に言うところの団体種目、チーム種目に関してが足踏み状態のように感じています。地域移行への現在の状況や計画等をお聞かせください。

## 2 今後の学校再編と小規模校（みつばプラン）について

以前の令和4年9月定例会の一般質問にて、少子化の状況等から学区割の見直し等の学校再編についてをお聞きしましたが、その時には「行政主導の学校再編はない」とのご答弁を記憶しており、それから時間も経過し、新しく今年度からは教育環境に関するタウンミーティングや学校教職員を対象としたふれあい懇談会、また様々な懇談会等で色々な話が出ているとも思いますが、今後の様々推移していく状況からの市内小、中学校の学校再編等について、小規模校3小学校（みつばプランの状況等）について、それらを踏まえ今後の市内教育環境への当市の考えをお聞かせください。